京都自死・自殺相談センター

活動報告書

2010年度（2010年2月～2011年5月）

京都自死･自殺相談センターの概要

2010 年 5 月、僧侶・自死遺族を含む一般市民が集まり、自死にまつわる様々な苦悩を抱える方を支援する団体「京都自死・自殺相談センター」を設立しました。

開設当初は、ボランティアの養成に奔走しておりましたが、10 月からは、死にたいほどの苦悩を抱える方を対象とした夜間の「電話相談窓口」を開設することができました。窓口へは「死にたい」「消えてしまいたい」「生きる意味を失いました」といった声が届けられています。こうした心の声に耳を傾ける中で、「少しだけ楽になった」「とりあえず明日は生きてみます」「また電話して良いですか」という声をいただいています。この電話相談の活動を通して、死にたいほどの苦悩を受け止める場所が必要とされていることを、あらためて実感いたしております。

また、〈相談活動〉の他に〈啓発活動〉〈グリーフサポート〉にも積極的に取り組んでおります。残念なことですが、今も日本の社会に自死に関する偏見・無理解・無関心があり、自死念慮者やご遺族を苦しめています。そこで私どもは、自死についての正しい情報を提供し、偏見をなくすため〈啓発活動〉を推進しています。さらに、大切な方を自死で亡くされた方は、想像を絶するほどの大きな苦悩を抱えており、自死遺族の心のケアは自死に関する問題の重要な課題の一つとなっています。この課題に対しては、ご遺族の心のケアやサポート方法の研修を行なう〈グリーフサポート〉の活動を進めています。

このように、自死にまつわる様々な問題を多角的な局面から対応することにより、一人でも多くの方が安心して悩むことのできる社会の実現を目指しています。

会員

○賛助会員・・・２０２名
○法人会員・・・　５１名
※５月末現在

お問い合わせ≫
京都自死・自殺相談センター事務局
〒600-8349　京都市下京区西中筋通花屋町下ル堺町 92
電話：075-365-1600　FAX：075-371-5761　e-mail：so-dan@kyoto-jsc.jp
http://www.kyoto-jsc.jp

経過

2010年 2月	・準備会立ち上げ
	・スタッフ研修（2月～7月）
3月	・スタッフ勉強会（講師 西原由記子[1]氏）
4月	・スタッフ勉強会（講師 渋井哲也[2]氏）
	・手紙相談研修会開催（講師 藤澤克己[3]氏）
5月	・京都自死・自殺相談センター設立
6月	・スタッフ勉強会（講師 石倉紘子[4]氏）
	・スタッフ合宿研修及び勉強会（講師 野村清治[5]氏）
7月	・第1期ボランティア養成講座開始
	・スタッフ勉強会（講師 澤井登志[6]氏）
9月	・Ｌｉｆｅ Ｆｅｓ ＫＹＯＴＯ 灯２０１０ 開催
	・ボランティア養成講座（前期）終了
	・スタッフ勉強会（講師 生越照幸[7]氏）
10月	・電話相談窓口開設
	・ボランティア養成講座（後期）開始
	・ＮＰＯ法人化のための総会開催
11月	・広島春秋会 坊さんフェス ブース出展
12月	・ＮＰＯ法人化申請
2011年 3月	・自殺対策強化月間８０時間連続電話相談受付
4月	・公開シンポジウム開催
	・ＮＰＯ法人登記
5月	・被災地専用の電話相談受付
	ＮＰＯ法人ライフリンクと共同
	・関西への避難被災者専用の電話相談受付
	大阪自殺防止センター・ＮＰＯ法人コスモスと共同
	・第2期ボランティア養成講座（前期）

[1]西原由記子…東京自殺防止センター創設者／[2]渋井哲也…自死をテーマとした著書が多いフリーライター／[3]藤澤克己…自殺対策に取り組む僧侶の会代表／[4]石倉紘子…こころのカフェ きょうと代表／[5]野村清治…リメンバー名古屋自死遺族の会代表幹事／[6]澤井登志…大阪自殺防止センターディレクター／[6]生越照幸…過労自死などの労働事件や自死遺族支援に取組む弁護士

事業別活動報告

相談活動事業

自死の危険が迫っている方や、大切な人を自死で亡くされた方に対して、完全秘密厳守のもと、電話にて相談に応じます。また、相談等に応じるボランティアの養成も行います。

ボランティア養成講座

- **前期養成講座**：２０１０年７月７日～９月２９日（水曜日・全１０回）開催
  応募者(４３名)、受講者（３４名)、認定者（３０名）
  ※修了者はグリーフサポート・啓発ボランティアに認定

- **後期養成講座**：２０１０年１０月１日～２０１１年６月頃
  ※認定者のうち１９名は後期養成講座をひきつづき受講したのち電話相談員に認定

電話相談

- **電話相談窓口開設（２０１０年１０月）**
  相談件数（５月末現在)：２５６件
- **自殺対策強化月間「８０時間連続電話相談窓口開設」**（２０１１年３月２８日～４月１日）

グリーフサポート

大切な人を自死で亡くした方へのサポート方法を学ぶ勉強会の開催などを行っています。

スタッフ勉強会

- **石倉紘子 氏（自死遺族サポートグループ こころのカフェ きょうと代表 ）**
  ２０１０年　６月　９日（水）　場　所：京都自死・自殺相談センター

- **野村清治 氏（リメンバー名古屋自死遺族の会代表幹事）**
  ２０１０年　６月２０日（日）　場　所：浄土真宗本願寺派山科別院

- **生越照幸 氏（弁護士，京都自死・自殺相談センター理事）**
  ２０１０年　９月２８日（火）　場　所：京都自死・自殺相談センター

- **鷹見有紀子 氏（リメンバー名古屋自死遺族の会代表幹事）**
  ２０１１年　５月２６日（木）　場　所：京都自死・自殺相談センター

啓発事業

自死についての正確な情報を広め、偏見や無理解を減らすことを目的とし、多くの方が参加できるイベントの開催や、街頭募金活動、講演会の開催を行っています。

イベント

● **ＬＩＦＥ　Ｆｅｓ’　ＫＹＯＴＯ　灯　２０１０　～いのちを想うキャンドルナイト～**

月　日：９月１２日（日）　　**場　所**：梅小路公園
来場者：１，５００名
目　的：自死にまつわる様々な問題に関する情報の提供／地域社会自死に関する団体との融和
自死に関する相談窓口の紹介／事前研修会によるボランティアへの啓発
内　容：自死対策団体・自死遺族・宗教者からのメッセージ発信／アーティストによるコンサート
手作りメッセージキャンドル作成／キャンドルナイト　等

● **広島春秋会“坊さんフェス”ブース出展**

月　日：１１月２３日（火・祝）　　**場　所**：広島グリーンアリーナ
来場者：２，６００名
内　容：活動紹介のパネル展示／リーフレット配布／募金／ステージでのメッセージ発信
※　相談の受付窓口は設置しなかったものの相談が３件あり

● **公開シンポジウム「いま、わたしたちにできること―安心して、悩むことのできる社会へ―」**

月　日：４月２３日（土）　　**場　所**：龍谷大学アバンティ響都ホール
来場者：２００名
内　容：講演、ビデオメッセージ上映、パネルディスカッション
出演者：【　講　　演　】磯村健太郎
［朝日新聞記者、『ルポ 仏教、貧困・自殺に挑む』（岩波書店）著者］
【ビデオメッセージ】柳沢光美［自殺対策を推進する議員有志の会会長］
石倉紘子［こころのカフェ きょうと代表］
【パネリスト】引土絵未［同志社大学嘱託講師、精神保健福祉士］
清水新二［奈良女子大学名誉教授、当センター理事長］
【コーディネーター】澤田亮英［京都新聞記者］

会報　※月1回発行

● **会報「BE」**　第１号（２０１０年　４月）　第２号（２０１０年　５月）
第３号（２０１０年　６月）　第４号（２０１０年１０月）
第５号（２０１０年１１月）　第６号（２０１０年１２月）
第７号（２０１１年　１月）　第８号（２０１１年　２月）
第９号（２０１１年　３月）

● **会報「Sotto」**　第１号（２０１１年　４月）　第２号（２０１１年　５月）

パネル展示　※親鸞聖人750回大遠忌期間

● **聞法会館にて展示**

街頭募金･広報活動 ※月1回実施

募金総額：１４８,１０６円

4月	四条河原町	６,５７７円
5月	清水寺	１３,８９７円
6月	京都タワー前	４,６９５円
7月	四条河原町	５,７６５円
8月	本願寺盆踊り大会	２,０００円
9月	Life Fes' KYOTO灯２０１０	５２,０４２円
10月	四条大宮	８,３９５円
11月	広島春秋会 坊さんフェス	２１,２０２円
12月	京都タワー前	８,４４４円
1月	京都タワー前	１７,２６３円
2月	京都タワー前	７,１２１円
3月	京都タワー前	（広報活動）
4月	京都タワー前	（広報活動）
5月	京都タワー前	７０５円

印刷物

●ポスター

●リーフレット

●電話相談窓口広報カード

※本願寺境内（龍虎殿・安穏殿・聞法会館・大谷本廟）、京都市内の保健センター、宇治市・京田辺市・木津川市・亀岡市・向日市・福知山市・南丹市・城陽市の保健所などへ設置。

メディア

新聞

朝日新聞	（２０１０年 １月２３日）
毎日新聞	（２０１０年 ２月２１日）
読売新聞	（２０１０年 ３月 ７日）
京都新聞	（２０１０年 ３月 ７日）
朝日新聞	（２０１０年 ６月 ７日）
京都新聞	（２０１０年 ６月１４日）
中外日報	（２０１０年 ６月１７日）
京都新聞	（２０１０年 ６月１８日）
本願寺新報	（２０１０年 ７月 １日）
中外日報	（２０１０年 ７月１７日）
中日新聞	（２０１０年 ７月２２日）
文化時報	（２０１０年 ８月 ７日）
京都新聞	（２０１０年 ８月１１日）
本願寺新報	（２０１０年 ８月２０日）
京都新聞	（２０１０年 ８月２５日）
中日新聞	（２０１０年 ８月２８日）
市民しんぶん	（２０１０年 ９月 １日）
仏教タイムズ	（２０１０年 ９月 ２日）
朝日新聞	（２０１０年 ９月 ６日）
本願寺新報	（２０１０年 ９月１０日）
本願寺新報	（２０１０年 ９月２０日）
本願寺新報	（２０１０年１０月 １日）
本願寺新報	（２０１０年１０月２０日）
中外日報	（２０１０年１０月３０日）
仏教タイムズ	（２０１０年１１月 ４日）
京都新聞	（２０１０年１２月３０日）
産経新聞	（２０１０年１２月２９日）
京都新聞	（２０１１年 １月１４日）
仏教タイムズ	（２０１１年 １月２０日）
毎日新聞	（２０１１年 ３月２７日）
中日新聞	（２０１１年 ３月２９日）
本願寺新報	（２０１１年 ４月）
仏教タイムズ	（２０１１年 ４月１４日）
京都新聞	（２０１１年 ４月１７日）
朝日新聞	（２０１１年 ４月１８日）
京都新聞	（２０１１年 ４月１９日）
京都新聞	（２０１１年 ４月２４日）
読売新聞	（２０１１年 ５月 ５日）

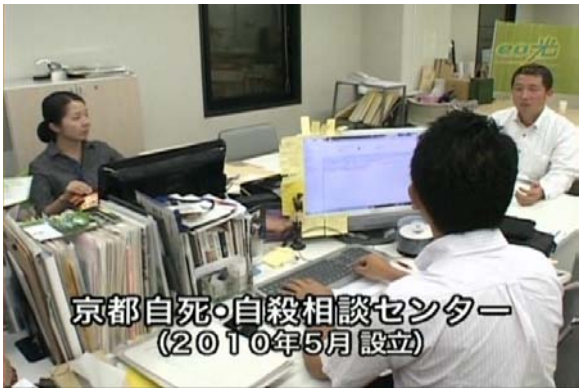
テレビ

●関西テレビ

「ニュースアンカー」

●ケーブルテレビ

K-CAT「ニュース K」



●NHK

「今日いちにち」

※イベントについては NHK、KBS、
eo ネット、関西テレビで報道されました

ラジオ

三条ラジオカフェ

「京都府地域力再生プロジェクト」

（２０１０年９月４日放送）

書籍・雑誌

●『自殺を防ぐためのいくつかの手がかり～未遂者の声と、対策の現場から』
（渋井哲也著・河出書房新社）

●『月間フューネラルビジネス』１１月号
（２０１０年１０月２５日発行）

●『葬式をしない寺―大阪・應典院の挑戦』
（秋田光彦著・新潮新書）

●『ルポ 仏教、貧困・自殺に挑む』
（磯村健太郎著・岩波書店）

出講

４月２６日　真宗高田派教学院第二部会（主催：真宗高田派教学院）
コメンテーター　　対象；真宗高田派僧侶および門信徒　約２０名

６月２１日　布教使研修会（主催：石川教区布教団）
講演および体験学習　　対象；本願寺派布教使　約２０名

７月３１日　いのちの根のつどい（主催：いのちの根のつどい）
講演　　対象；医療従事者　約５０名

９月　４日　公開講座 自死・自殺を共に考える（主催：浄土真宗本願寺派新湊組）
コーディネーター　　対象；本願寺派僧侶および門信徒　約５０名

９月１９日　聞法会館 日曜講演（主催：浄土真宗本願寺派）
講演　　対象；本願寺派僧侶および門信徒　約５０名

１０月　５日 東海教区員弁組同朋研修会（主催：員弁組）
講演および体験学習　　対象；本願寺派僧侶および坊守　２２名

１０月　９日 龍谷大学教育学会ミニ学会（主催：龍谷大学教育学合同研究室）
講演　　対象；龍谷大学大学院生　約３０名

１１月　３日 市民公開講座 自殺問題研究会（主催：いのちを守る行動ネットワーク）
シンポジスト　　対象；横浜市民　約１００名

１１月２８日 曹洞宗学術大会　自死問題に関する特別部会（主催：曹洞宗総合研究センター）
事例報告およびシンポジスト　　対象；曹洞宗僧侶　約６０名

１１月２９日　教団附置研究所懇話会年次大会（主催：教団附置研究所懇話会）
研究発表　　対象；宗教教団に所属する研究者　約２００名

１１月１６日　奈良教区ビハーラ公開セミナー（主催：ビハーラ奈良）
講演　　対象；本願寺派僧侶および門信徒

１２月　５日　應典院寺町倶楽部第６０回寺小屋トーク（主催：應典院寺町倶楽部）
シンポジスト　　対象；一般公開　約６０名

１２月１５日　龍谷大学人権問題研修会（主催：龍谷大学文学部）
講演　　対象；龍谷大学文学部教員　約４０名

１２月１６日　京都教区親鸞聖人讃仰研修会（主催：京都教区布教団）
講演　　対象；本願寺派京都教区布教使　約２０名

２月２１日　ビハーラ神戸シンポジウム（主催：ビハーラ兵庫）
講演およびシンポジスト　　対象；本願寺派僧侶・門信徒　約５０名

２月２５日　フリースタイルな僧侶たち（主催：フリースタイルな僧侶たち）
講演　　対象；一般公開　約１０名